

## 競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2026年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により行う。

(1) 競技用シューズについて

審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

種 目	ソールの最大厚さ	その他の要件 / 注意
トラック種目（競歩を除く） フィールド種目 （サークルから行われる 投てき種目を除く）	スパイクシューズ または ノン・スパイクシュー ズ 20mm	すべての跳躍種目では、前足部中央のソールは、踵中央のソールより高くなつてはならない。 （競技用靴に関する規程 8.3 項および 8.4 項参照 ：シューズ内部の長さの 12%と 75%の位置）
競歩種目 （トラック、道路）	40mm	

(TR5.2)

(2) 競技エリア内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を持ち込んではいけない。

(3) 当該種目出場の競技者以外は、競技区域に立ち入ることができない。また、競技者は招集完了後競技終了まで、当該競技役員の許可なく競技区域から離脱してはならない。

2. 競技場への入場について

(1) 正面スタンド1F および2F入口を開放する。

(2) 入場証は不要とするが、各校顧問が入場者の把握に努めることとする。

(3) 観戦は学校関係者のみとし、入場時や観戦中に各校との関係について確認をすることがある。

3. 競技場の使用について

(1) 横断幕、ノボリの設置は南北の芝スタンド（土盛スタンド）後方およびバックスタンド後方のみとする。

(2) テントの設置は、メインスタンド通路より上側（屋根のあるエリアをの除く）、または芝スタンド・バックスタンドに設置し、ロープ等が通路に掛らないようにすること。

(3) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること（**俥路では捨てない**）。

(4) トラック・フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(5) 更衣室は更衣のみの利用とする。使用時間は1人10分以内。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

4. 練習について

(1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。学校・個人のハードルやラダーなどは持ち込まないこと。また、ゴムチューブなどを使ったスピード練習は禁止する。また、危険防止のため日傘の使用は禁止とする。

(2) 公園内でのリレー練習は一切認めない。また公園内でのスピードを出しての練習も禁止とする。

(3) 競技場および公園内は、メディスンボール等の物を投げる練習は禁止する。

(4) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

(5) 競技開始前のトラックでの練習については、次のとおりとする。

## 競技開始前の競技場での練習について

競技会開始前の競技場（トラック）での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。  
ただし、練習可能時間内であっても競技会準備を優先とし、競技役員の指示に従うこと。  
なお、競技場での練習は、1日目は8時20分までとする。2～4日目は16時までとする。  
また、安全のため日傘の使用を禁止する。

※いずれもジョグはレーン外でおこなうこと ・ 1、2レーンは長距離ペース走用

### 【1日目】（7月11日）

○ホームストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

○バックストレート

4～9レーン = リレー練習

※リレーバトン練習は1→2走 ・ 3→4走は第2コーナー、  
2→3走は第3コーナーで行うこと。

各校で使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。

※接触防止のため3レーンは使用しない

### 【2日目】（7月12日）

○ホームストレート

3～9レーン = 直線からのスプリント練習

○バックストレート

3～5レーン = コーナーからのスプリント練習

6～9レーン = 直線からのスプリント練習

### 【3日目】（7月18日）

○ホームストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

○バックストレート

4～9レーン = リレー練習

※リレーバトン練習は1→2走 ・ 3→4走は第2コーナー、  
2→3走は第3コーナーで行うこと。

各校で使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。

※接触防止のため3レーンは使用しない

### 【4日目】（7月19日）

○ホームストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

○バックストレート

4レーンは使用しない（接触等の防止のため）

5・6レーン = 女400mH 7～9レーン = 男400mH

### 【5日目】（7月20日）

○ホームストレート

3～5レーン = 直線からのスプリント練習

6・7レーン = 100mYH 8・9レーン = 110mJH

○バックストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

## 5. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

- (1) 招集場所は室内練習場とする。
- (2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。女子ハンマー投は、40分前開始・30分前完了とする。

招集時間	トラック	跳躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集場所にて上半身競技服装になり、競技者係より点呼を受け、アスリートビブス・腰ナンバーカードおよび競技で使用するシューズの確認を受けてそのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動すること。
- (4) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第1種目の招集開始時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならないが、提出をした第2種目は代理をたてる必要はない。提出時には、ユニフォーム・アスリートビブス・競技で使用するシューズの確認を受けること。
- (5) リレー種目について
  - ・オーダー用紙は**第1組の招集完了時刻の60分前**までに競技者係へ提出すること。
  - ・リレーの招集は4人揃って受けること。ただし、他種目に出場している時は「多種目同時出場届」を提出することで、代理を立てる必要はない。提出時には、ユニフォーム・アスリートビブス・競技で使用するシューズの確認を受けること。
- (6) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。
- (7) 点呼後、招集所から競技場内へ移動する場合、競技役員や補助員の指示に従うこと。

## 6. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・(やり投)については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとする。
- (4) トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通過してスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内にビデオ装置、携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器等を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所からの提示により見ることは認めない。メインスタンド前ピットで行われる走幅跳・三段跳では、録画再生機器等をメインスタンドの指定されたエリアから大会本部が用意した吊り下げ紐付き袋を使用した場合のみ、それ以外の場所での跳躍競技および投擲種目では、コーチ席前の指定されたエリアの中で、録画映像を提供する者から受け渡しが可能な範囲であれば、競技者は撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしてもよい。ただし、通信通話機能の使用は競技規則により禁止である。
- (6) 集団での声援(応援)及び不正な助言行動は自粛すること。なお、フィールド競技の手拍子については競技進行の妨げになる可能性があるため禁止する。
- (7) フィールド種目について
  - ① トップ8は行わない。
  - ② 跳躍種目はセクションラインを設ける(走幅跳・三段跳は、1回は全員計測)。○走高跳【男子】1m50【女子】1m20 ○走幅跳【男子】5m20【女子】4m20
  - ③ 走幅跳は1組(メインスタンド前トラック側)、2組(メインスタンド側)で行う。男子三段跳は1年生(メインスタンド前トラック側)、2年生(メインスタンド側)で行う。女子三段跳は、1年生(メイン9m踏切板)、2年生(バックスタンド側10m踏切板)で行う。

走高跳は第一曲走路内側で行う。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

④バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	練:現場判断 / 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 以降 3cm
女 走高跳	練:現場判断 / 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 以降 3cm
男 棒高跳	練:現場判断 / 2m62 2m82 3m02 3m22 3m42 3m62 以降 10cm
女 棒高跳	練:現場判断 / 2m02 以降 10cm

(8)フィールド競技の試技制限時間(単独種目)

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技は30秒とする。

※※残っている競技者が2人以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

(9)競歩種目では、ラスト1周で22分00秒を超える選手は競歩主任が競技を打ち切る。また、ハーフパンツでの出場は認めない場合もある。

7. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫前(メインスタンド下南側)で行う。

8. 表彰について

各種目6位入賞者に賞状を与える。入賞者は、1階エントランスに取りに来ること。

9. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- (2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (3) Jアラート警報が発令された場合や雷時には、競技を中断・中止する場合がある。その場合は参加料の返金はしない。

10. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (3) 競技日程はプログラム記載のものを確認すること。HPにUPされているスタートリストの競技開始時間は参考なので、必ず競技日程を確認すること。
- (4) 補助員分担は別頁に記載してある。
- (5) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない)
- (6) 撮影については、当該生徒のみの撮影としスマホとタブレットのみ使用可能。
- (7) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
- (8) 2日目(12日)の開門抽選は、11日(土)9:00~9:15の間に1階エントランスで行う。  
3日目(18日)の開門抽選は、12日(日)17:00~17:15の間に1階エントランスで行う。  
4日目(19日)の開門抽選は、18日(土)17:00~17:15の間に1階エントランスで行う。  
5日目(20日)の開門抽選は、19日(日)17:00~17:15の間に1階エントランスで行う。
- (9) **大阪高校総体1日目(8/17)の開門抽選は7月21日(月)17:00~17:15の間に1階エントランスで行う。**

## 第 80 回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部（中央大会）について

日程：8月17日（月）・8月18日（火）・8月19日（水）・8月20日（木）

場所：万博記念競技場

※各地区からの進出数はすべての種目でシード選手・チームを含む合計数とする。

### 1. 中央大会への出場者は以下のとおりとする。

※各地区からの進出数は、すべての種目でシード選手・チームを含む合計数とする。

- ①男子100m・200mは1・2地区で上位24名、3・4地区で上位24名の合計48名。女子100mは1・2地区で上位20名、3・4地区で上位20名の合計40名。競歩は1・2地区、3・4地区全体で予選会の記録上位16名、その他のトラック種目は1・2地区で上位16名、3・4地区で上位16名の合計32名。
- ②棒高跳は1・2地区で4名、3・4地区で4名の合計8名、その他の跳躍種目は1・2地区で12名、3・4地区で12名の合計24名。投擲種目は1・2地区で8名、3・4地区で8名の合計16名。
- ③4×100mRは1・2地区で32校、3・4地区で32校の合計64チーム。
- ④4×400mRは1・2地区で16校、3・4地区で16校の合計32チーム。
- ⑤全国インターハイに出場する者はシードされ参加申込種目すべて大阪高校総体に出場できるが、この大会には出場できない(リレーも含む)。ただし、シード権を放棄した場合は出場できる。
- ⑥地区予選会申込時にエントリー数が①②③④の予選会通過人数を下回る場合は全て本大会に出場できる。なお、エントリー数が一方の地区で①②③④の予選会通過人数に満たない場合、もう一方の地区からの大阪大会出場枠を増やす。
- ⑦その他詳細については各地区主任より連絡する。

### 2. 大阪高校総体の出場辞退について

- ・大会5日目競技終了後15分以内に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後15分以降の辞退は受け付けない。
- ・辞退届が提出された場合は、各種目記録上位の者から補充する。※同記録の場合は抽選とする。

### 3. リレーメンバーの変更について

中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了後15分以内にリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。今大会終了後15分以降の変更は受け付けない。（変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出しなくてよい。）

### 4. 同記録が出た場合

- ①トラック種目については規則第167条に従う（資料あり）。
- ②走幅跳・三段跳・砲丸投については、セカンド、サード記録で決定する。
- ③円盤投・ハンマー投・やり投・走高跳・棒高跳については抽選とする。

## 資料

### 規則第167条 同成績

2.（着順ではなく）時間を元にして166条3（b）によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。上記規則により1/1000秒着差あり、それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。

※中央大会の出場者の通知は、連絡事項とともに、8月上旬を目途に顧問あてにメール送信する。その内容を確認し参加者一覧表を作成のうえ、原則、大会に参加する初日に提出すること。なお、大会に関係する追加連絡は、随時、大阪高体連陸上競技専門部HPに掲載するので随時確認すること。

※中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。ただし、参加料については、個人種目1種目500円、リレー種目1,000円、プログラム代金1人500円（出場者責任購入のこと）を後日連絡する振込方法にて期日までに振り込むこと。

以上

## 個人情報の取り扱いについて

プログラム記載の個人情報（名前、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会、大阪高体連陸上競技専門部のWEBサイト等に記載されますが、本大会関係以外には一切使用しません。